

# OpenManage Integration for VMware vCenter バージョン 5.3 互換性マトリックス

## メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

<b>章 1: 概要</b> .....	<b>4</b>
デフォルトの仮想アプライアンスの設定.....	4
<b>章 2: サポートされているリソース</b> .....	<b>5</b>
サポートされるサーバーおよび vSAN Ready Node.....	5
ハードウェア要件.....	5
対応 BIOS バージョン.....	5
PowerEdge サーバーでサポートされる機能.....	8
PowerEdge シャーシでサポートされる機能.....	9
プロビジョニングされたストレージに必要なストレージ容量.....	10
ソフトウェア要件.....	10
管理対象ホスト上のサポートされている ESXi バージョン.....	10
ポート情報.....	11
<b>章 3: 重要なメモ</b> .....	<b>13</b>
<b>付録 A: その他の必要マニュアル</b> .....	<b>14</b>
<b>付録 B: Dell へのお問い合わせ</b> .....	<b>15</b>

# 概要

本書には、OpenManage Integration for VMware vCenter ( OMIVV )、および OMIVV ソフトウェアに付属するその他すべての技術マニュアルに対するアップデートされた情報が記載されています。

OpenManage Integration for VMware vCenter 5.3 では、次の機能を利用できます。

- RESTful API の追加サポート

サポート対象の API に関する詳細については、<https://www.dell.com/support/>にある『OpenManage Integration for VMware vCenter バージョン 5.3 API ガイド』を参照してください。

- vSphere 7.0 U2 のサポート
- PowerEdge XE8545、R750、R750xa、R650、C6520 および MX750C サーバーのサポート
- ステートレスなメモリー ページ廃棄 ( MPR ) アラートのサポート
- デフォルトおよび現在アクティブなアプライアンスを切り替えるためのスイッチ アプライアンスの機能拡張
- アドバンス ECC モード、ミラー モード、スペア モード、アドバンス ECC モードのスペア、および Dell 耐障害性に関するメモリー動作モード アラートをサポートする Proactive HA 機能の強化。
- 検証済み VMware Horizon サーバーのサポート

① **メモ:** OMIVV 5.3 では、Dell EMC OpenManage Enterprise-Modular Edition バージョン 1.00.01 以降を使用することをお勧めします。

① **メモ:** OMIVV 5.0 以降では、VMware vSphere Client ( HTML-5 ) のみがサポートされ、vSphere Web Client ( FLEX ) はサポートされません。

## デフォルトの仮想アプライアンスの設定

表 1. 展開モードのシステム要件

展開モード	ホストの数	CPU の数	メモリー ( GB )	最小構成のストレージ
小	最大 250	2	8	95 GB
中	最大 500	4	16	95 GB
大	最大 1000	8	32	95 GB
特大	最大 2000	12	32	95 GB

① **メモ:** 上述の展開モードのいずれについても、予約機能を使用して OMIVV 仮想アプライアンスに十分なメモリーリソースが確実に予約されているようにします。メモリーリソースの予約についてのステップは、vSphere のマニュアルを参照してください。

# サポートされているリソース

本章には、OpenManage Integration for VMware vCenter をサポートするリソースに関する情報が記載されています。

## サポートされるサーバーおよび vSAN Ready Node

表 2. サポートされる PowerEdge サーバーおよび vSAN Ready Node

12G		13G		iDRAC9 ベース			vSAN Ready Node
M420	R620	FC430	R530	FC640	R7425	T640	C6420
M520	R720	FC630	R830	M640	R6415	T440	R740xd
M620	R720xd	FC830	R930	MX740C	R7415	XR2	R640
M820	R820	M630	R230	MX840C	R740xd	XE2420	R440
R220	R920	M830	R330	R240	R6515	XE8545	R6415
R320	T320	R630	T630	R340	R7515	R640	R840
R420	T420	R730	T130	R940	R7525	R840	R6515
R520	T620	R730xd	T330	R940xa	T340	R440	R7515
-	-	R430	T430	R740	R750	R6525	R740
-	-	C4130	-	R740xd2	R750xa	C6525	MX740C
-	-	C6320	-	T140	R650	C4140	R7415
-	-	-	-	C6420	C6520	-	R7425
-	-	-	-	R540	MX750C	-	-

## ハードウェア要件

OMIVV は、Dell EMC PowerEdge サーバーを完全サポートしており、iDRAC Express および Enterprise の全機能に対応しています。お使いのホストサーバが適格であることを確認するには、以降のセクションに記載されている次の項目を参照してください。

- サポートされている BIOS および iDRAC バージョン
- サポートされている iDRAC バージョン (導入および管理の両方)
- プロビジョニングされたストレージに対応したメモリー、CPU、およびディスク容量

OMIVV には、iDRAC の管理ネットワーク、CMC または OME-Modular システム管理ネットワーク、および vCenter 管理ネットワークにアクセスできる、マザーボードまたはネットワーク ドーター カード上の LAN が必要です。

## 対応 BIOS バージョン

OpenManage Integration for VMware vCenter の機能を有効にするには、次のバージョンの BIOS および Lifecycle Controller 搭載 iDRAC が必要です。

OMIVV を使用する前に、Repository Manager、または Lifecycle Controller のプラットフォームを使用して作成されたブータブル ISO を使用してお使いのサーバのバージョンを次のいずれかにアップデートすることをお勧めします。

表 3. 12G PowerEdge サーバーの対応 BIOS バージョン

サーバー	必要最小 BIOS バージョン
T320	1.0.1 以降
T420	1.0.1 以降
T620	1.2.6 以降
M420	1.2.4 以降
M520	1.2.6 以降
M620	1.2.6 以降
M820	1.2.6 以降
R220	1.0.3 以降
R320	1.2.4 以降
R420	1.2.4 以降
R520	1.2.4 以降
R620	1.2.6 以降
R720	1.2.6 以降
R720xd	1.2.6 以降
R820	1.7.2 以降
R920	1.1.0 以降

表 4. 13G PowerEdge サーバーの対応 BIOS バージョン

サーバー	必要最小 BIOS バージョン
R630	1.0.4 以降
R730	1.0.4 以降
R730xd	1.0.4 以降
R430	1.0.4 以降
R530	1.0.2 以降
R830	1.0.2 以降
R930	1.0.2 以降
R230	1.0.2 以降
R330	1.0.2 以降
T630	1.0.2 以降
T130	1.0.2 以降
T330	1.0.2 以降
T430	1.0.2 以降
M630	1.0.0 以降
M830	1.0.0 以降
FC430	1.0.0 以降
FC630	1.0.0 以降
FC830	1.0.0 以降

表 5. iDRAC9 ベース PowerEdge サーバーの対応 BIOS バージョン

サーバー	必要最小 BIOS バージョン
R240	1.0.0 以降
R340	1.0.0 以降
R940	1.0.0 以降
R940xa	1.0.0 以降
R740	1.0.0 以降
R740xd	1.0.0 以降
R740xd2	1.0.0 以降
R640	1.0.0 以降
R840	1.0.0 以降
R440	1.0.0 以降
M640	1.0.0 以降
T140	1.0.0 以降
T340	1.0.0 以降
T640	1.0.0 以降
T440	1.0.0 以降
R540	1.0.0 以降
FC640	1.0.0 以降
R6415	1.0.0 以降
R7425	1.0.0 以降
R7415	1.0.0 以降
XR2	2.2.11 以降
MX740C	1.0.0 以降
MX840C	1.0.0 以降
R6515	1.0.3 以降
R7515	1.0.3 以降
R6525	1.0.0 以降
R7525	1.2.4 以降
XE2420	1.0.0 以降
XE8545	1.0.0 以降
R750	1.0.0 以降
R750xa	1.0.0 以降
R650	1.0.0 以降
MX750C	1.0.0 以降

表 6. vSAN Ready Nodes の対応 BIOS バージョン

vSAN Ready Node	必要最小 BIOS バージョン
R740xd	1.0.0 以降
R640	1.0.0 以降

表 6. vSAN Ready Nodes の対応 BIOS バージョン ( 続き )

vSAN Ready Node	必要最小 BIOS バージョン
R440	1.0.0 以降
R6415	1.0.0 以降
R7415	1.0.0 以降
R7425	1.0.0 以降
R6515	1.0.3 以降
R7515	1.0.3 以降
C6420	1.0.0 以降
R840	1.0.0 以降

## 対応する Lifecycle Controller 搭載 iDRAC のバージョン

表 7. 導入に対応する Lifecycle Controller 搭載 iDRAC

[ サーバー ]	[ Lifecycle Controller 搭載 iDRAC ]
12G	2.50.50.50 以降
13G	2.50.50.50 以降
iDRAC9 ベース サーバー	3.00.00.00 以降

表 8. クラウドサーバの BIOS と iDRAC の要件

モデル	BIOS	Lifecycle Controller 搭載 iDRAC
C6320	1.0.2	2.50.50.50 以降
C4130	1.0.2	2.50.50.50 以降
C6420	1.0.0 以降	3.00.00.00 以降
C4140	1.0.0 以降	3.00.00.00 以降
C6525	1.0.0 以降	3.42.42.42 以降
C6520	1.0.0 以降	4.40.21.00 以降

## PowerEdge サーバーでサポートされる機能

OpenManage Integration for VMware vCenter によって管理されているホスト上では、次の機能がサポートされています。

表 9. PowerEdge サーバーでサポートされる機能

機能	[ 第 12 世代 および第 13 世代 ]	[ iDRAC9 ベース サーバー ]
ハードウェアインベントリ	Y	Y
イベントとアラーム	はい ( SNMP v1 および v2 )	はい ( SNMP v1 および v2 )
コンポーネント毎の正常性監視*	Y	Y
BIOS / ファームウェアアップデート#	Y	Y
Proactive HA	Y	Y
保証情報	Y	Y
管理対応性	Y	Y

表 9. PowerEdge サーバーでサポートされる機能（続き）

機能	[ 第 12 世代 および第 13 世代 ]	[ iDRAC9 ベース サーバー ]
設定コンプライアンス	Y	Y
ベアメタルサーバの自動 / 手動検出	Y	Y
ベアメタル準拠	Y	Y
ハードウェア構成	Y	Y
OS 導入	Y	Y
サーバー LED の点滅	Y	Y
SEL ログの表示 / クリア	Y	Y
iDRAC のリンクと起動	Y	Y
iDRAC のリセット	Y	Y
システムロックダウンモード	無	Y
システムプロファイル	Y	Y
クラスタプロファイル	Y	Y
統合シャーシ IP を使用したホスト管理	無	Y <sup>@</sup>
OEM サーバのサポート	Y <sup>~</sup>	Y
vSphere Lifecycle Manager	はい <sup>^</sup>	はい <sup>^</sup>

\* モデル番号 C6320 のクラウドでは、メザニンカードの正常性監視はサポートされていません。

# モデル番号 C6320 のクラウドでは、メザニンカードのファームウェアアップデートはサポートされていません。

@ MX シャーシホストにのみ適用されます。インベントリ、モニタリング、Proactive HA、ファームウェアのアップデート機能がサポートされています。

~ ラック サーバーでのみサポートされます。

^ vSphere 7.0 以降に対して認定されたプラットフォームのみ。

## PowerEdge シャーシでサポートされる機能

このトピックには、PowerEdge シャーシでサポートされる機能に関する情報が記載されています。

表 10. モジュラー型インフラストラクチャでサポートされる機能

機能	M1000e	VRTX	FX2s	MX
SNMP アラート	Y	Y	Y	Y
ハードウェアインベントリ	Y	Y	Y	Y
CMC または管理モジュールのリンクと起動	Y	Y	Y	Y
ライセンス情報	該当なし	Y	Y	Y
保証情報	Y	Y	Y	Y
正常性レポート	Y	Y	Y	Y
マルチシャーシ管理グループの関係情報	N	N	N	Y
ファームウェアアップデート	N	N	N	Y

## プロビジョニングされたストレージに必要なストレージ容量

OMIVV 仮想アプライアンスでは、プロビジョニングされたストレージ用に 95 GB 以上のディスク容量が必要です。

## デフォルトの仮想アプライアンスの設定

OMIVV 仮想アプライアンスは、8 GB の RAM と 2 個の仮想 CPU でプロビジョニングされます ( 小規模展開モード )。

## ソフトウェア要件

vSphere 環境が、仮想アプライアンスのシステム要件と、ポート アクセス、クロックの同期化、リスニング ポートの各要件を完全に満たすようにしてください。ポート要件の詳細については、『[ポート情報](#)、p. 11』を参照してください。

OpenManage Integration for VMware vCenter を表示するには、システムに最小 1,024 x 768 の画面解像度と、オペレーティングシステムに基づく最小要件を満たす Web ブラウザーが必要です。

OMIVV の機能へのアクセスには、Google Chrome を使用することをお勧めします。OMIVV は、Google Chrome と Mozilla Firefox をサポートしています。Microsoft Internet Explorer はサポートされていません。

最新バージョンの対応ブラウザを使用することをお勧めします。具体的なブラウザバージョンについては、お使いの vCenter 用の VMware のマニュアルを参照してください。

[ VMware vSphere Client ( HTML-5 ) の要件 ]

vCenter 6.5 U2 以降

OpenManage Integration for VMware vCenter は、次の vCenter サーババージョンのすべてをサポートします。

表 11. サポートされている vCenter サーババージョン

vCenter バージョン	クライアント サポート
6.5 U2	Y
6.5 U3	Y
6.7	Y
6.7 U1	Y
6.7 U2	Y
6.7 U3	Y
7.0	Y
7.0 U1	Y
7.0 U2	Y

vCenter 6.5 U2 には、最新のパッチ ビルド 13638625 以降を使用します。

OMIVV 5.3 アプライアンスは CentOS バージョン 7.8 で実行されます。

## 管理対象ホスト上のサポートされている ESXi バージョン

次の表は、管理対象ホスト上でサポートされている ESXi バージョンに関する情報を提供するものです。

表 12. サポートされている ESXi バージョン

ESXi バージョン	[ 12G ]	[ 13G ]	[ iDRAC9 ベース サーバー ]
6.5 U2	Y	Y	Y
6.5 U3	Y	Y	Y
6.7	無	Y	Y

表 12. サポートされている ESXi バージョン ( 続き )

ESXi バージョン	[ 12G ]	[ 13G ]	[ iDRAC9 ベース サーバー ]
6.7 U1	無	Y	Y
6.7 U2	無	Y	Y
6.7 U3	無	Y	Y
7.0	無	Y	Y
7.0 U1	無	Y	Y
7.0 U2	無	Y	Y

①メモ: PowerEdge MX ホストは、ESXi 6.5 U2 以降で使用されている場合にのみサポートされます。

## ポート情報

本項には、仮想アプライアンスと管理対象ノードの設定に関するポート要件がすべてリストされています。

表 13. 仮想アプライアンス

ポート番号	プロトコル	ポートタイプ	最大暗号化レベル	方向	送信先	使用状況	説明
53	DNS	TCP	なし	出力	OMIVV アプライアンスから DNS サーバへ	DNS クライアント	DNS サーバへの接続またはホスト名の解決。
68	DHCP	UDP	なし	入力	DHCP サーバから OMIVV アプライアンスへ	動的ネットワーク設定	IP、ゲートウェイ、ネットマスク、DNS などのネットワーク詳細情報の入手に使用。
69	TFTP	UDP	128 ビット	出力	OMIVV から iDRAC へ	トリビアルファイル転送	ベアメタルサーバーの対応する最小ファームウェアバージョンへのアップデートに使用。
123	NTP	UDP	なし	入力	NTP から OMIVV アプライアンスへ	時刻の同期	特定のタイムゾーンと同期。
162	SNMP エージェント	UDP	なし	入力	iDRAC または CMC、もしくは OME-Modular から OMIVV アプライアンスへ	SNMP エージェント (サーバー)	管理対象ノードからの SNMP トラップ受信。
80/443	HTTP/HTTPS	TCP	なし	出力	OMIVV アプライアンスからインターネットへ	Dell オンラインデータアクセス	オンライン (インターネット) 保証、ファームウェア、最新 RPM 情報への接続。
443	HTTPS	TCP	128 ビット	入力	OMIVV UI から OMIVV アプライアンスへ	HTTPS サーバー	OMIVV が提供する Web サービス。vSphere Client および Dell 管理ポータルで使用。
443	HTTPS	TCP	128 ビット	入力	ESXi サーバから OMIVV アプライアンスへ	HTTPS サーバー	OMIVV アプライアンスと通信するためのポストインストールスクリプト用のオペレーティングシステム導入フローで使用。
443	HTTPS	TCP	128 ビット	入力	iDRAC から OMIVV アプライアンスへ	自動検出	管理対象ノードの自動検出に使用するプロビジョニングサーバ。
443	WSMAN	TCP	128 ビット	入力 / 出力	OMIVV アプライアンスと iDRAC 間	iDRAC 通信	管理対象ノードの管理および監視に使用する iDRAC、CMC、または OME-Modular 通信。

表 13. 仮想アプライアンス ( 続き )

ポート番号	プロトコル	ポートタイプ	最大暗号化レベル	方向	送信先	使用状況	説明
445/139	SMB	TCP	128 ビット	出力	OMIVV アプライアンスから CIFS へ	CIFS 通信	Windows 共有との通信用。
2049/111	NFS	UDP/TCP	なし	入力 / 出力	OMIVV アプライアンスから NFS へ	パブリック共有	OMIVV アプライアンスによって管理対象ノードに公開される NFS パブリック共有。ファームウェアアップデートおよびオペレーティングシステム導入のフローで使用。
4001 ~ 4004	NFS	UDP/TCP	なし	入力 / 出力	OMIVV アプライアンスから NFS へ	パブリック共有	これらのポートは、NFS サーバの V2 および V3 プロトコルによって statd、quotd、lockd および mountd サービスを実行するため、継続的に開いている必要があります。
ユーザー定義	任意	UDP/TCP	なし	出力	OMIVV アプライアンスからプロキシサーバへ	プロキシ	プロキシサーバとの通信

表 14. 管理対象ノード ( ESXi )

ポート番号	プロトコル	ポートタイプ	最大暗号化レベル	方向	送信先	使用状況	説明
162	SNMP	UDP	なし	出力	ESXi から OMIVV アプライアンスへ	ハードウェアイベント	ESXi から送信される非同期 SNMP トラップ。ESXi からこのポートを開く必要あり。
443	WSMAN	TCP	128 ビット	入力	OMIVV アプライアンスから ESXi へ	iDRAC 通信	管理ステーションへの情報提供に使用。ESXi からこのポートを開く必要あり。
443	HTTPS	TCP	128 ビット	入力	OMIVV アプライアンスから ESXi へ	HTTPS サーバー	管理ステーションへの情報提供に使用。ESXi からこのポートを開く必要あり。

iDRAC および CMC ポート情報の詳細については、[ <https://www.dell.com/support> ]にある『Integrated Dell Remote Access Controller ユーザーズガイド』および『Dell Chassis Management Controller ユーザーズガイド』を参照してください。

OME-Modular ポート情報の詳細については、[ <https://www.dell.com/support> ]にある『Dell EMC OME-Modular ユーザーズガイド』を参照してください。

## 重要なメモ

本項では、OpenManage Integration for VMware vCenter で作業しているときに考慮する必要がある重要情報について説明します。

- OMIVV は、現在「Public」または「public」という名前のコミュニティのみをサポートしています。SNMP コミュニティ名は設定できません。別のコミュニティ名が使用されている場合、OMIVV によってイベントが受信されないため、イベントは VMware vCenter には表示されません。
- 参照サーバーの BIOS バージョンによっては、そのサーバーで作成されたシステム プロファイルが展開失敗の原因となる場合があります。一部の BIOS バージョンは、内蔵 NIC1 および NIC2 設定などの特定の BIOS 設定に対して正確な情報を提供しません。システム プロファイルで最小の BIOS バージョンのサーバーを参照サーバーとして使用すると、それらのフィールドは UI および展開の両方によって無視されます。これにより問題が発生します。ただし、問題が発生するのは、展開を正常に完了するために当該設定に特定の値が必要である場合です。この問題を解決するには、最新 BIOS を備えたサーバーをシステム プロファイルの参照サーバーとして使用します。
- FQDN(完全修飾ドメイン名)を使用して VMware vCenter に OMIVV を登録することを強くお勧めします。FQDN ベースの登録では、vCenter のホスト名は DNS サーバによって適切に解決される必要があります。
- vSphere の DNS の要件の詳細については、次のリンクを参照してください。
  - [vCenter サーバー アプライアンスおよび Platform Services Controller アプライアンスの DNS 要件](#)
  - [Windows での vCenter サーバー アプライアンスおよび Platform Services Controller の DNS 要件](#)
- クラウドサーバでは、iDRAC Enterprise ライセンスが必要です。
- OMIVV は、Server Message Block (SMB) バージョン 1.0 および SMB バージョン 2.0 ベースの CIFS 共有のみをサポートします。
- OAuth 2.0 を使用した iDRAC の認証委任はサポートされていません。

## その他の必要マニュアル

次の文書は、[ [www.dell.com/support](http://www.dell.com/support) ] で入手可能です。

- *OpenManage Integration for VMware vCenter バージョン 5.3 ユーザーズガイド*
- *OpenManage Integration for VMware vCenter バージョン 5.3 インストールガイド*
- *OpenManage Integration for VMware vCenter バージョン 5.3 リリース ノート*
- *OpenManage Integration for VMware vCenter バージョン 5.3 API ガイド*
- *OpenManage Integration for VMware vCenter バージョン 5.3 セキュリティ ガイド*

## Dell へのお問い合わせ

**メモ:** インターネットにアクセスできない場合には、注文書、配送伝票、請求書、または Dell 製品カタログにある、お問い合わせ情報をご利用ください。

Dell では、オンラインおよび電話によるサポートとサービスオプションをいくつかご用意しています。これらのサービスは国および製品によって異なり、お住まいの地域では一部のサービスがご利用いただけない場合があります。Dell のセールス、テクニカルサポート、またはカスタマー サービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. [ Dell.com/support ] にアクセスしてください。
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの下部にある [ 国 / 地域の選択 ] ドロップダウンリストで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 目的のサービスまたはサポートを選択します。